

令和2年

目黒区教育委員会

第27回定例会会議録

(令和2年8月4日開催)

第27回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年8月4日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻井道雄
	教育委員会委員	後藤幸子
	教育委員会委員	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長	檜本達司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	岡英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	片山順也
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	千葉富美子

書記		森高健二郎
----	--	-------

(議事日程)

日程第1 協議事項 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書採択
について

(午前9時開会)

○教育長 令和2年第27回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、後藤委員
です。

ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を
許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
なお、以後、傍聴の申請があった場合には、22人までその都度
許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 協議事項 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択に
ついて)

○説明員 (資料により説明)

○教育長 ただいま事務局から説明がありましたが、本日もこれまでの4
回の協議に引き続いて、令和3年度から目黒区立中学校で使用す
る教科用図書について、既にお配りしております調査研究委員会
報告書及び学校調査報告書を参考にしながら、協議を進めてまい
りたいと思います。

資料1の採択日程のとおり、本日は、全16種目中の5種目、
国語、書写、数学、理科、美術について協議します。

これら5種目については、これまでの協議で既に委員の皆様か
らご意見を伺っているところですが、本日は付け加えるご意見が
あれば、それを伺いながら採択候補を1社に絞り、8月25日に
採択の議決を行いたいと思います。

なお、これまでと同様、各委員及び私が発言する際に呼ぶ各教科
書の発行者名については、お手元の発行者一覧に記載の協議用記
号で呼ぶことといたしますので、よろしくお願いします。

それでは、早速本日の協議に入ります。

まず、国語から協議を始めます。

国語につきましては、7月7日の協議でH社、J社の2社に絞ったところです。

○委員 私は、前回J社を選びまして、今回改めて2社を比較しました。どちらも充実した内容で共通する点も多く、選ぶのに苦労しましたが、生徒が自分で予習、復習する際にも使いやすいかどうかという点で選びました。

その結果、私はJ社を選びました。

○委員 私も迷いましたので、様々な点から2社の教科書を比較しました。

目次は、H社の教科書のほうがテーマごとに何を学ぶかが明瞭で、話す、聞く、書く、読むのテーマごとに学ぶ内容については、J社のほうが見やすいと思いました。

それから、J社の教科書では、巻頭の「思考の地図」で、考える力を養う手順や該当ページが示されています。H社の教科書も、同じように思考の方法についての記載が巻末資料にあります。どのページで詳細に記載されているかについては記述がありませんでした。

また、どちらの教科書にも「竹取物語」と「少年の日の思い出」が共通して掲載されており、それらを比較したところ、J社の教科書は、古典の世界の時代背景が分かりやすく記載されていると思いました。また、古文と現代文を並列で掲載するつくりも分かりやすくてよかったです。

以上から、私はJ社がよいと思いました。

○委員 私も、改めて2社を比較検討いたしました。

国語力を育成するための取組が、H社の教科書よりJ社の教科書のほうが充実していると思いました。

例えば、J社の教科書では、「音読を楽しむ」のコーナーが各学年に掲載されており、漢字の習得方法も、読み方だけでなく、四字熟語を完成させながら覚えさせたり、文章を完成させながら覚えさせる工夫が見られました。

また、学習指導要領の改訂ポイントである情報の取扱いに関して、H社の教科書は「情報を関連づける」という単元の中で主に取り扱っていますが、J社の教科書は「情報社会を生きる」という単元を設けるほか、情報整理のレッスンや思考のレッスンでも、情報の整理などについて取り上げており、この点も評価しました。

さらに、教科書の下段に掲載されている漢字と語彙の記載が適切な位置に配置されている点や、ブックデザインが落ち着いており、美しい点も、J社の教科書を評価するポイントとなりました。

以上から、私はJ社がよいと思いました。

○委員

私も、他の委員の方々のご意見と同じですので、それ以外に感じた点を申し上げます。

J社の教科書では、情報の取扱いについて学習する上で、生徒の発達段階に応じた深い学びにつなげる工夫がなされている特徴がありました。

一方、H社の教科書でも情報の取扱いについて掲載されていますが、資料編の「情報を活用する」という項目の内容が、各学年全て同じであることが気になりました。

総合的に見ますと、両社の教科書とも語彙を豊かにさせる工夫や、自分の考えを形成させる工夫が充実しており、大差ないと思いますが、今申し上げた点で、J社の教科書のほうが優れていると思いましたので、私はJ社を選択しました。

○教育長

私もJ社を推します。

7月7日に述べたとおりですが、学習の進行に伴って、各単元で身につけるべきことを見通せるづくりが巻頭部分でなされている点、思考の広げ方、整理の仕方、深め方が一覧になっており、活用しやすいづくりになっている点が、J社の教科書がより優れている点だと判断しました。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推された方が5名全員ということですので、J社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、国語については、J社を採択候補といたします。

では、引き続き、2番目の書写について協議します。

書写につきましては、先週、7月28日の協議で、I社、J社の2社に絞ったところです。

○委員

私は、J社がよいと思いました。各テーマが「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」という項目で構成されており、明瞭で見やすいこと、「学習の窓」で重要なポイントが示されてお

り、学習しやすいこと、別冊の「書写ブック」で、本書の関連ページが示されており、自習の助けになることから、そのように判断いたしました。

また、書写は、日本の伝統文化の基礎となるものであり、卒業後も、必要に応じて学び返せる教科書が望ましく、そのためには、簡潔明瞭で親しみやすい教科書がよいという観点からも、J社がよいと思いました。

○委員 私も、先に結論を申し上げますと、J社です。

J社、I社いずれの教科書でも、授業ごとの目標を掲げているのですが、J社の教科書のほうがより視覚的でシンプルなつくりになっており、実技の時間を多くとれるよう配慮がなされています。また、他の委員が述べられたとおり、J社の教科書は「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」という項目で構成されており、生徒にとって分かりやすいつくりとなっています。

また、日常で用いる硬筆についても、本書と別冊で取り扱っており、書写の能力を育成する工夫がみられるほか、お手本だけでなく、コラムにもQRコードが付いており、様々な角度から生徒の興味を引くつくりとなっています。

○委員 私も、I社、J社比較いたしまして、J社を推します。

別冊の「書写ブック」により、繰り返しの学習を生徒たちに促し、主体的な学びにつなげる素晴らしい工夫だと思いました。

両社いずれの教科書も、手書きを強調し、社会や生活で活用させる工夫が見られましたが、私は繰り返しの学習に注目しまして、J社の教科書のほうが優れていると判断しました。

○委員 私も、結論から申し上げますと、J社がよいと思いました。

その理由としては、J社の教科書は、1年生、2年生のうち、行書と楷書を区別しており、すっきりした構成になっているからです。また、日常に役立つ書式として掲載されているものが、適切だと感じました。

I社の教科書も、同様の内容が盛り込まれていますが、構成が複雑であり、分かりにくいと思いました。また、書写として、ポスターや案内文についても掲載していますが、それを学ぶことは難しく、毛筆の行書、楷書を中心に学習したほうが適切だと思いました。

○教育長 私は、7月7日の協議で、J社を推しましたので、本日もJ社を推します。理由は、以前述べたとおりです。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推された方が5名全員ということですので、J社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、書写については、J社を採択候補といたします。引き続き、3番目の数学について協議いたします。数学につきましては、先週、7月28日の協議でG社、K社の2社に絞ったところです。
- 委員 改めてG社とK社の教科書を比較検討した結果、G社を推薦したいと思います。
- 理由としては、1年生の教科書の最初にゼロ章として、「算数から数学へ」という章が設けられている点です。「算数」から「数学」に言葉が変わるだけで、身構える子どもは多いと思います。その不安を払拭する工夫が、この教科では重要だと考えています。
- また、K社の教科書の2次方程式の導入の説明が、G社の教科書の説明に比べて分かりづらかったことも、G社を推した理由の1つです。
- さらに、G社の教科書は基本の問題が充実しており、大切にしたい見方、考え方を虫眼鏡マークで表すなど、算数が苦手な子のために、丁寧で分かりやすいつくりになっている点もよかったです。
- 委員 私は、数学の教科に苦手意識を持つ生徒が多いと思いますので、その苦手意識の払拭を目指した、生徒たちが取り組みやすい教科書がよいと考えています。
- まず、G社の教科書についてですが、数学の苦手意識の払拭を図るため、各単元にゲーム感覚で数学を学ぶ工夫が見られました。また、データの活用では、他人が作った記録の整理を行うといった形で、統計処理をスタートさせている点が印象に残りました。
- 次に、K社の教科書についてですが、教科書の使い方やノートの作り方を丁寧に勉強することにより、苦手意識を払拭するつくりとなっており、苦手意識への取組については、K社の教科書のほうが優れていると思いました。また、データの活用では、自分

の実験のデータを作ることから学習を始めており、日常の活動を統計に結び付ける工夫がなされていると感じました。

どちらの教科書も、苦手意識を払拭し、数学的活動を促す工夫が見られましたが、総合的に判断して、私はK社を選択します。

○委員 私も、K社を選択しました。

2社の教科書を比較しましたが、K社の教科書では、「みんなで学ぼう」、「自分から学ぼう」のコーナーにより、2通りの学習ができる工夫が生徒の興味を引く構成となっており、自分で学ぼうという意欲につながると思いました。

あと、前回も申し上げましたが、イラストや図も工夫されており、楽しい雰囲気や数学を学べる点や、演習問題が豊富であり、学力の向上につながる構成となっている点がよいと思いました。

○委員 G社の教科書は、先生が例題を説明した後に生徒が設問に進む構成で、例題と類似の問題には印がつけられているため、先生が生徒の学習状況を確認できるつくりとなっている点がよかったです。また、補充問題でも、高い難易度の設問に印がつけられているため、生徒の学習状況を確認しながら教科書を使用できるつくりとなっています。

一方、K社の教科書も、巻末に「自分から学ぼう」というコーナーがあり、QRコードを利用しながら、自分で基本問題から難しい問題まで学べる工夫がなされており、優劣をつけ難いと思いました。

ただ、数学は、差がつきやすい教科ですので、先生が生徒の学びの状況を確認でき、能力別に対応できる工夫がなされている教科書のほうが、よいと思いましたので、私はG社を選択しました。

○教育長 私は、K社を選択いたしました。

この社の教科書の特徴として、巻末に、生徒が自ら取り組んで学びを深めることを狙いとしたページを設けている点が挙げられます。その部分で、新学習指導要領の改訂ポイントの1つである日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に処理し、問題を解決することと、数学の事象について統合的、発展的に考え、問題解決することの二つの過程を相互に関わり合わせることを重視したつくりとなっており、その具体例も盛り込まれている点がよかったです。

また、QRコードが教科書全体の随所に付されており、ICT

機器を活用した学習について配慮がなされています。これらの点から、私はK社を選択しました。

出ました意見を集約いたしますと、K社を推された方が3名、G社を推された方が2名ということですので、K社を採択候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、数学については、K社を採択候補といたします。
引き続き、4番目の理科について協議いたします。
理科につきましては、先週、7月28日の協議で、G社、K社の2社に絞ったところです。
- 委員 理科についても、G社、K社の教科書いずれもよい教科書だと思いましたが、選択に苦勞しました。
これまでの他の委員、教育長の意見や調査研究委員会報告書等の内容を振り返った上で、改めてG社、K社の教科書を読み返し、比較検討しました。その結果、K社がよいと思いましたが。
K社の教科書は、各單元ごとに簡潔なサイクルにより学習を進める構成で、文章や図表、コラムなどが効果的に配置されており、生徒の興味を引き、自学自習を促す工夫に優れているほか、巻末シートで生徒自身の学習の到達度を確認させる工夫も素晴らしかったため、K社を選択しました。
- 委員 私も、K社がよいと思いましたが。
2社いずれの教科書も、内容については大差ありませんが、比較しますと、全般的にK社の教科書のほうが、様々な記述が懇切丁寧である印象を受けたことと、随所に基本のチェックや力試しの問題が設けられており、生徒に理解させ、知識を定着させるための工夫がなされていると思いましたが。
G社の教科書については、判型が縦長で、若干扱いにくいと感じました。
- 委員 私は、身の回りの自然現象などを科学的に探究する力を養うため、多くの人との対話から、自ら課題を見つけ、探究する姿勢を身につけられる教科書がよいと思いましたが。
G社の教科書は、巻頭で科学についての説明がなされています。また、対話による学びについては、両社いずれの教科書でも重視しているところですが、G社の教科書では、巻頭から議論や発

表の仕方などについて言及している点がよいと思いました。また、実験や安全配慮について、イラストで非常に分かりやすく説明している点や、個々の基本操作の安全性については、目次の下段に記載している点がよかったです。一方、K社の教科書では、130ページに「実験を正しく安全に進めるため」という項目で掲載されています。

また、地震発生の仕組みなどについては、両社の教科書とも詳しく記載されていましたが、G社の教科書で、「地震に備えるために」という項目を設けている点がよかったです。

以上のとおり、G社の教科書のほうが、より対話的な学びを重視しており、説明が簡潔明瞭であり、工夫が素晴らしいと判断したため、私はG社を推薦します。

○委員 両社いずれの教科書も、途中や各章末に学習内容を確認できる項目があり、基礎的な知識を習得させる工夫も十分なされており、主体的に学習に取り組む態度を育む工夫もなされているため、判断が難しかったですが、私はK社を推したいと思います。

理由は、部活ラボ、防災減災ラボ、お仕事ラボなど、日常生活と社会との関連性を示して、子どもたちが関心を持ちやすいものをコラムという形で数多く提示している点や、QRコードが多数のページに配置されている点です。

例えば、2年生の地球の分野では、QRコードにより、ひまわりをリアルタイムに状況観察することができるなど、理科におけるデジタルコンテンツの有用性を発揮している点を評価しました。

○教育長 私はK社を選択いたしました。

K社の教科書の巻末のシートは、テーマごとに課題の設定、仮設の設定から観察、実験を経て結果の確認から考察まで、一連の流れを整理できるものであり、科学的態度を生徒が身につけるのに非常に有用であると判断しました。そこが両社を分けるところとなりました。

出ました意見を集約いたしますと、K社を推された方が4名、G社を推された方が1名ということですので、K社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、理科については、K社を採択候補といたします。
引き続き、本日最後の美術について協議いたします。
美術については、7月7日の協議で、H社、I社の2社に絞ったところ です。
- 委員 私は、2社の教科書を見比べまして、H社を選びました。
理由としては、H社の教科書は、I社の教科書に比べて、絵を描く手順、版面を彫る手順、粘土作品の作り方について、丁寧に説明されている と思いました。また、美術史についても、要領よくまとめられており、全体的に学ぶべき内容がバランスよく盛り込まれている と思いました。
I社の教科書は、3分冊になっているため、取扱いに不便が生じるのではないかと気になりました。また、絵の描き方や彫刻の彫り方についての説明が少ない一方、陶芸についての説明が丁寧である印象を受けましたが、中学生の授業の実態としては、絵の描き方や彫刻の彫り方に重点を置くものだと思いますので、これらの点を踏まえて、H社を選びました。
- 委員 2社いずれの教科書も、絵、彫刻、デザイン、工芸、資料の項目により本が構成されています。
H社の教科書は、全体で81ページあり、絵や彫刻に20ページ、デザインや工芸に18ページ、資料に22ページ用いています。I社の教科書は、全体で75ページあり、絵や彫刻に27ページ、デザインや工芸に19ページ、資料に17ページ用いています。I社の教科書は、H社の教科書に比べて、本文が多く、資料が少なく、全体で8ページ少ないです。ただ、I社の教科書は、感性を磨く旨を本文で強調しており、美術とは感性を豊かにして、心豊かな生活を創造するものだと考えておりますので、この姿勢には好感をもちました。
また、絵や彫刻のテーマについて、2社の教科書を見比べたところ、I社の教科書のほうが絵が大きく、興味をそそられました。
- 以上申し上げた点を総合的に鑑みて、私はI社がよいと思いました。
- 委員 私は、H社を推薦します。
まず、ページのつくりがシンプルで分かりやすく、見やすいレイアウトになっています。また、教科書の紙質を変えることにより、技法を直接体感させるなど、教科書そのものを見る、読むだ

けではなく、触る、描くなどの工夫がなされている点もよかったです。

さらに、QRコードに関しても、該当する下のページに掲載しており、生徒の便宜を図っています。

最後に、学校調査報告書では、3冊構成という点について扱いにくいといった意見が多かったので、その意見を採用しました。

○委員

私は、H社を推薦します。

小学校の図画工作に苦手意識を持つ生徒にも学びやすい教科書になっているかどうかという視点で、両社の教科書を見比べました。

H社の教科書では、苦手意識を払拭するため、ノートやスケッチブックを活用し、生徒自らが発想や構想するための工夫が見られました。また、他教科との関連を通じて、文化、社会、生活との密接な関わりを学ばせる工夫もみられた点がよかったです。

I社の教科書では、鑑賞作品に身近なものが多い点が特徴的でした。また、それぞれの作品に作者の言葉が付されており、描く意図を生徒に感じ取らせるための工夫がなされていました。

以上述べたとおり、どちらの教科書にもよい面があるのですが、生徒自らが発想や構想するための工夫や、他教科との関連を通じて文化、社会、生活との関わりを学ばせるための工夫を重視しまして、H社を推薦することとしました。

○教育長

私はI社を選択いたしました。

美術については、表現する領域と鑑賞する領域からなっていますが、どちらの領域にも、生徒たちを十分に刺激する作品が教科書に掲載されていてほしい気持ちがあります。その点から見ると、I社の教科書には、掲載されている作品や、その見せ方もよくできていると判断をして、I社といたしました。

出ました意見を集約いたしますと、H社を推された方が3名、I社を推された方が2名ということですので、H社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、美術については、H社を採択候補といたします。

本日の協議はここまでです。

本日協議いただきました国語、書写、数学、理科、美術につき

ましては、本日の結果を踏まえまして、8月25日に議案を提出させていただきます。

また、次回は8月18日になりますが、そこでの協議では、残りの11種目について1社に絞り込みますので、よろしくお願いいたします。

以上で、本日予定していた中学校教科用図書に係る協議については終了いたします。

○教育長

その他なにかございますか。

以上で本日の定例会を閉会します。

(午前9時45分閉会)